

地域医療連携懇話会の報告と御礼



(独) 労働者健康福祉機構中国労災病院

院長 碓井 亞

中国労災病院が地域医療支援病院に指定されて6年目ですが、「二人主治医制」の運用に皆様方のご協力を頂いておりますこと、感謝申し上げます。

さて、平成26年度の中国労災病院地域医療連携懇話会は、5月29日（木）午後6時30分より当院3階講義室において開催致しました。幸いにも天気は良く、原豊呉市医師会長をはじめ72名の方々にご参加いただきました。

懇話会では、当院職員から簡単な自己紹介を含めた全診療科・部・室の紹介に引き続いて榎野地域医療連携室長から当院の運営状況を報告させていただきました。その概略は、当院の3本柱である「救急医療」、「周産期医療」、「高度専門的医療」に関する実績、広島県地域医療再生計画の「心不全地域連携サポート体制」プロジェクトと「広島医療情報ネットワーク（HM ネット）」への取組み状況、地域医療連携室の現況、初期臨床研修医のマッチング、の概略を取り上げました。また、皆様方から事前に頂いていたアンケート調査の集計結果や要望への当院の対応について説明させていただきました。

懇話会終了後、引き続いて8階の多目的ホールに移動し、当院職員と近く意見交換をしていただきましたが、ここでも多くの方々にご出席いただいて有意義な機会となりましたこと、有難うございました。

中国労災病院は、救急医療、周産期医療、高度専門的医療を柱として、地域から信頼される病院を目指して努力して参りたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

平成26年5月30日